

佐古（東佐古、西佐古、父養寺、母代寺）地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日
香南市農林水産課

佐古（西佐古、東佐古、父養寺、母代寺）地区の 人と農地の課題と背景

■ 課題

- ・ 農業に魅力がなく人手不足や若い人の就農がない。
- ・ 水不足や水路設備が適切でない。
- ・ 農業の情報（特に補助金関連）が地区内で十分知られていない。

■ 課題とした理由/背景

4グループに分かれて地区の抱える農業課題について話し合い、各グループで次のように地区課題をまとめた。

A東佐古グループ：

- ✓ 作物の適地がない。農業（米作）ではもうからない。後継者がいない。水不足。

B佐古グループ：

- ✓ 物部川の水不足と設備が適切でない。若い人の就農がない。

C父養寺グループ

- ✓ 後継者がいない。労働力の確保が難しい。

D母代寺グループ

- ✓ 人手不足。補助金一覧が欲しい。

課題対応方針/施策

3

■方針（基本的な考え方）

・佐古地区は、地区のリーダー的人的資源を発掘し、自治体、大学、JAなどのそれぞれの分野の専門家のアドバイスを活用しながら、佐古地区の資源を活かし切るようにチャレンジする。

■施策（取組み）

方針	施策	目標	担当			期限
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C、JA、他	
地区農業資源を活かしきる	・事例を通じた低コスト、高収益農業あるいはノウハウの理解促進と地域独自の農業実践	・ 農業経営の向上 にむけた研修会開催依頼/受講/実践	◎		県農業振興部、農業振興C JA、大学等 ◎	R3. 通年
	・地区の農業インフラ改善促進	・ 水路の整備 に向けた準備/実施計画検討	◎	建設課 ◎		R3. 上期
	・HP等を通じた情報を受ける仕組みづくり（市のHP経由で農業経営/農地情報が得られる仕組み）	・ 新規就農者向け支援等農業経営の向上 の一助となる補助金等情報の取得 ・農地の集約/賃貸の方法の 情報取得	◎	農林水産課 ◎		R3. 上期
			○	農林水産課 農業委員会 ◎	農業公社 ○	R3. 上期

以下は、プラン原案策定のための
参照資料です。

課題抽出 グループワーク (11/25)

5

<人・農地プランの実質化>

A. 東佐古 グループの考える地区の農業課題



令和2年 11 月 25 日

課題

- 鬼味カのある農業 にはあるには

課題とした理由/背景

- ・ 適地ではない (作れず作物をさかそう)
- ・ お金がもうからない (米)
- ・ 後継者がいない (じきはい)
- ・ 水不足で作物が作れない

JA 園に

果樹

輸出する

は OK

フルア

ト分

<人・農地プランの実質化>



B グループの考える地区の農業課題



令和2年 11 月 25 日

課題

水(上段)の供給

若い人の就農がな

課題とした理由/背景

- ・ 物部川の水不足と設備が適切でない、
- ・ 経済的: 零細農業のほこ
- ・ 収益が少ない



5

課題抽出 グループワーク (11/25)

6

<人・農地プランの実質化>

C グループの考える地区の農業課題

(4名)



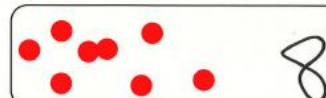
令和2年 〇月 〇日

課題

- ・高齢化による担い手不足

課題とした理由/背景

- ・後継者がいない。
- ・新規就農者の育成
- ・労働力の確保が難しい。



<人・農地プランの実質化>

D グループの考える地区の農業課題

(4名)



令和2年 11月 25日

課題

- ・人手不足
- ・補助金一覧がほしい

課題とした理由/背景

- ・
- ・
- ・



- ◎ 地区にある人材の発掘
- ◎ 専業農家からリーダーを選挙 (情報提供)
- ◎ 集落営農で農地を守る
- △ 販売力の増加 人/お
- △ 結婚への支援
 - 一つの案として推進委員をリーダーに選任する

- ◎ 担い手の育成 ✓
- ◎ 農地を時間単位で分担して管理する
 - 佐古地区全体で6次化産業を
- ◎ アドバイザーの確保 ✓
 - 他地区から人をつれてくる
 - 佐古地区で少子化ハローワーク
 - 作物の転換
 - 水の整備
 - 地域で要望を出していく
- 地域でブランドを作る。
- 就農モデルを作る。